

令和4年4月25日

令和4年

第4回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和4年4月25日（月曜日）午後3時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	
北 内 英 章	委 員	

2 出席職員（7名）

教育総務部長		今 井 健太郎
参事（教育施設担当）		河原田 光
教育総務課長		政 木 純 也
学務課長		大 竹 豊 和
指導課長		早 川 隆 之
指導企画担当課長		細 田 真 司
大田図書館長		金 子 法 子

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

日程第2 部課長の報告事項

~~~~~

(午後3時00分開会)

○教育長

ただいまから、令和4年第4回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は、傍聴希望者がおります。  
委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは、禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は、定足数を満たしておりますので、会議は成立しております。

まず、会議録署名委員に深澤委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。  
続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは、私のほうから、3点についてご報告させていただきます。

1点目は、令和4年度の入学式でございます。4月6日に小学校、そして、4月7日に中学校において入学式が行われました。小学校につきましては、私は、かつて校長をしておりました入新井第一小学校の様子を視察させていただきました。新入生が3学級ということですね。それで、入新井第一小学校は、現在、校舎が改築中です。

ただ、体育館は、かつてのとおりありますので、そこで行われました。

保護者は、両親が来ている家庭が多かったかと思っています。かわいらしい1年生が並んで入ってきて、しっかりとお話を聞いておりました。本来なら、2年生が最後、歓迎の演奏とか、そういうのをやって舞台上がって、その姿を見ると、この1年生が1年間で2年生にこれだけ成長するかなと、成長の大きさを感ずるところですけれども、今回は、そういう2年生がおりませんでした。

ただ、式は、本当に和やかに整然と行われていたかと思っています。

今回は、地域教育連絡協議会の方が参列されておりました。私も、お世話になっていた

方々がたくさんいらっしやったので、懐かしいなと思いました。

最後、校歌を歌うのですけれども、2年生がいないので、どうなるのかなと思っておりましたが、その式に参列した地域の方々が卒業生で大きな声で歌っていたので、それをみんなで聞くというのですか、やはり地域の方々の思いが積み重なっているのかなというふうに感じます。「良い子の学校、良い学校」というとてもいい歌詞が続く校歌をできたら在校生がいて、大きな声で1年生に聞かせてあげたかったなと思いました。

それから、4月7日は、中学校の入学式に行ってみりました。中学校は、志茂田中学校に行かせていただきました。志茂田中学校は、特別支援学級が1年1組になります。

それから、1年2組から6組までが、通常の学級という形で入学式をそれぞれやっていました。大勢の新1年生があつて、中学生らしい入学式になっていたかと思います。

2年生、3年生は、教室でオンラインで聞いていて、代表の生徒が、式には来ていました。コロナ禍なので、前日に、新入生歓迎の言葉を行う3年生が急遽代わって、言葉を述べておりましたが、やはり中学生らしいとても立派な挨拶で、感心いたしました。

こちらも、両親で来ている親御さんが多かったかなと思っています。立派な入学式で、中学校生活に向けての良いスタートを切れたかなと思ってございます。

また、志茂田小学校は、帰りに校庭に出ると、志茂田中学校と校庭がつながっています。ちょうど小学校のほうの休み時間で、あそこは、かつて区切りのネットがあったのですけれども、そのネットを外して、小中の子と交流をしていこうという現在の校長先生としてのお考えがあつて、小学生がいっぱい遊んでいて、それは、中学校のほうにも広がって、追いかけてっこをしたりしていました。子どもたちがこのコロナ禍で走り回っているのは、とてもいい光景だと思いましたし、小学校の先生たちも、副校長先生も本当にたくさん外に出て、一緒に行っていました。小学校、中学校の垣根というのですかね、ネットを外して、そこでのびのびと過ごしている様子、校舎のそういう環境がありますので、ぜひ連携を深めながら、志茂田小学校・中学校を、教育活動につなげていただければと思いました。それが、とても印象的でした。

2点目の報告は、学校訪問についてです。新年度になって、昇任された校長先生、それから、区内で転任された校長先生など、学校を私と教育総務部長、指導課長と指導企画担当課長で視察して回らせていただいております。

小学校は、中富小学校、久原小学校、入新井第二小学校、池上第一小学校、馬込第二小学校、清水窪小学校、仲六郷小学校に、中学校は、大森東中学校に行ってみりました。一応そういう形で学校訪問をさせていただく予定です。

それで、回ってみますと、学校は、それぞれ特色があるかなと思っています。

本日は、仲六郷小学校に行ってみりましたが、仲六郷小学校は、仲の良い子どもたちを丁寧に育てていただいているなということを感じました。教室に入ると、誰かがこんにちはと挨拶をして、非常に明るい雰囲気ですね。国語の授業が中心だったのですけれども、丁寧に指導をしているなと思いました。

若い先生とベテランの先生がいて、上手に若い先生の意欲をベテランの先生がいろいろ教えていて、ベテランの先生たちの力も生きているなと思いました。今、学校を回りますと、非常に小学生、中学生、先生方も張り切っているなと思いました。

今後、いろいろ学校が抱えている課題というのは出てくるのですけれども、やはり学校

を回らせていただくと、学校のメンバーのことを教育委員会としてもしっかりと把握しながら、その状況に適切に対応していくということが大事かなと思いました。学校のそういう状況把握を十分に行っていきたいなというふうに思っています。

それから、最後に3点目は、今年度、本格的に実施されますコミュニティ・スクールですが、先週の土曜日23日に、今年度からコミュニティ・スクールとなった馬込第三小学校、道塚小学校、大森第二中学校の第1回目の学校運営協議会に、私と教育総務部長、教育地域力担当副参事とともに、挨拶に回らせていただきました。

私からは、コミュニティ・スクールの取組が地域力を生かした、今後の大田区の学校の在り方として、大変重要な施策であることをお話しさせていただいて、それぞれご協力を依頼したところです。

あと、久が原小学校、大森第三中学校の2校がコミュニティ・スクール活動を今年度から始めますけれども、委員の方の様子というのですか、ちょっとご挨拶をさせていただくと、本当に意欲的に学校に関わっていただく、そういう地域力が本当に和やかながら、大変楽しいというのですか、ありがたいことだなと思いました。

今後は、コミュニティ・スクールについては、しっかりと成果を検証をしながら、各学校にさらに広めていきたいと思っておったところでもあります。

以上、3点でございますが、私からの報告とさせていただきます。

それでは、ただいまの報告につきまして、ご意見がありましたら、お聞かせ願いたいと思います。

### ○三留委員

コミュニティ・スクールのお話がありました。モデルスクールでの活動が進んでいることと思います。

学校経営方針の承認が、最初の大きな活動になると思います。また、学校に関する意見や評価など、一つ一つしっかりやっていくことが大切になります。それから、地域学校協働本部が、コミュニティ・スクールをつくった学校については発足するというので、今度、双方向の連携ということも必要になってくると思います。今後の取組について、期待をしているところでございます。

それから、もう一つ、文部科学省の学習者用デジタル教科書、この実証事業が始まりまして、大田区でも、外国語科、社会科などについて、デジタル教科書が配布されたと聞いておりますので、それに関わって意見を述べさせていただきたいと思います。

私は、まだ、学習用デジタル教科書を活用した授業を見ていないのですけれども、いろいろ調べたり、話を聞いたりすると、今後、活用によっては、大きな成果があると思っております。

いくつかのアンケートから、学習者用デジタル教科書の導入については、反対の意見も多くあることは承知しております。視力低下などの健康面の不安だとか、教員のICT指導力からの懸念の指摘もあります。私は、当面、紙の教科書との併用を前提に推進していくべきと考えております。

デジタル教科書のメリットとして、拡大・縮小、音声読上げ、検索機能、書込みと保存機能などがあるわけですが、例えば、英語学習においては、教科書の文章の発音を

自分の力量に合わせた速度で聞いたり、国語の学習で本文を自由に切り取ってカード化して整理したり、算数・数学の学習で図形を回転させたりするなど、多様な使い方・成果が期待できると思っております。

特別支援教育では、文字などの拡大機能、音声読上げ機能、色の変更などについて、効果が期待できるではないかと思っております。

それから、日本語の学びが途上の児童・生徒にとっても、例えば、総ルビ機能など活用できることが多いと思われまます。

まずは、各学校で効果的と思える事例を蓄積して、区全体で共有して、多様な学びに結び付けてほしいと思っております。

#### ○教育長

ほかにご意見は。

#### ○北内委員

私も、4月6日に田園調布小学校の入学式に出席させていただきました。コロナ禍なので来賓なしということでしたが、地域教育連絡協議会の委員、関係者ということで出席させていただきました。3クラス90数名、元気な1年生が入学しました。

校長先生のお話の後、6年生の代表児童がボードを使って、新入生に学校生活について教えていました。大変すばらしい代表児童の発表で、感心しました。

#### ○教育長

ありがとうございます。

ほかに。よろしいでしょうか。

それでは、次の日程に移ります。

日程第2について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第2は、部課長の報告事項でございます。

#### ○教育長

それでは、部課長、報告をお願いいたします。

#### ○指導課長

資料の令和4年度大田区立学校の研究校等についてをご覧ください。

2年次の大田区教育委員会教育研究推進校は、8校あります。10月14日、萩中小学校から順次、研究発表が予定されています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症に係る対応として、各校1名のご参加とさせていただきましたが、今年度につきましても、感染の状況を踏まえ、参加方法が決定次第、各校に通知し、より良い方法で発表が行えるようにしてまいります。

また、令和5年2月16日には、大田区における研究の成果を広く区民、保護者にもお

伝えする、おおたの教育研究発表会の開催をオンラインにて予定しております。

今年度指定の新規校は、下の表にお示しした8校です。学習指導要領の趣旨を踏まえ、本区の様々な教育課題の解決に向けた、実践的な研究に取り組んでいただきます。

裏面に参りまして、その他に、人権教育研究協力校を3校、家庭学習研究推進校を2校、おおたサイエンススクールを1校、理科教育推進拠点校を4校、不登校対策実施校28校、生きる力をはぐくむプログラム～大田区における特色ある教育の推進～事業実施校として4校を指定しております。

さらに、(仮称)未来ものづくり科の新設に向けた研究実践校を6校、ICT教育推進授業モデル実証校・先進校を4校、キャリア教育モデル校を1校を指定しております。

なお、ICT教育推進授業モデル実証校・先進校には、梅田小学校、東調布第一小学校、南六郷中学校、安方中学校が決定しました。

東京都教育委員会、文部科学省等が指定する研究校は、2及び3のとおりです。いずれの研究も、実践的な研究を通して大きな成果を上げられることを期待して、研究をサポートしてまいります。

#### ○教育長

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問は。

#### ○三留委員

指導課長から令和4年度の研究校の話がございました。今の課長もおっしゃっていただけけれども、どの学校も現代的な教育課程をテーマにしている、研究の意欲というのを感じております。

これは、昨年も話したことなのですが、ぜひ各学校では、学校なりの論理を明確にして、実践に取り組んでいただきたいと思います。教育の趨勢や自校の実態に合わせた「目指す子ども像」を設定して、「目指す子ども」を育てるための具体的な手だてを設定して、子どもの変容について振り返ることができるような研究にしてほしいと考えております。各校の取組に期待しております。

#### ○教育長

ほかにいかがでしょうか。

#### ○北内委員

研究校について、協働・教科担任制、(仮称)未来ものづくり科、地域力を生かしたコミュニティ・スクール、ICTの活用、いじめの未然防止と不登校対策など、これまで大田区で重点的に進めてきた課題だと思えます。引き続き、大田区の子どもたちのためにご尽力、ご指導をよろしく願います。

以上です。

#### ○教育長

ほかにございますか。

○深澤委員

研究校についてですけれども、コロナウイルスの状況によっては、発表にいらっしゃる方を制限する可能性があるということではあるのですけれども、2年間かけてやれてきたことで、私も参加させていただくと、非常に勉強になることも多いと感じておりますので、ぜひICTなども活用しながら、そこで培ったものを大田区の他の学校にも広めていただきたいという工夫をしていただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

○教育長

ほかに、ご意見はありますでしょうか。

それでは、続けて部課長の報告をお願いします。

○大田図書館長

令和4年度大田区立図書館のシステム機器入替えに伴う臨時休館に関して、説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。

図書館システムの機器は、今年の11月にリース期間が満了となり、新しい機器の入替えが必要となります。

そのために、令和4年12月1日から12月14日まで、こちらを臨時休館とさせていただきます。臨時休館の図書館は、区立の図書館16館と大田文化の森情報館、田園調布せせらぎ館図書館サービスコーナー、声の図書室になります。

期間中は、図書館ホームページ及び池上図書館の予約本自動受取機も利用できませんが、ブックポストへの返却や電子書籍の貸出サービスの利用は、かなうところであります。

また、今回の臨時休館につきましては、各図書館にご協力をいただきまして、システムが使えない休館中にでも、図書館の入口付近に臨時の新聞等の閲覧コーナーを設置して、区民のサービスの提供を図っていこうと計画中でございます。

○教育長

それでは、今のご報告について、ご意見は。

○三留委員

ただいま、図書館システム機器リース期間の終了による新たな機器の導入ということで説明がございました。

必要な対応なのだと思いますけれども、それによって、蔵書管理や貸出管理が一層円滑化して、区民の利便性を高めることにつながるようにしてもらいたいと思っております。

それとともに、システムと連動したレファレンスの充実、それから、配架や各スペースの配置の工夫なども、関連して検討を進めてほしいと思っております。

それから、新たな機器の導入で、読書傾向の分析もできると思っております。区民の読書傾向の把握に努めて、より区民のニーズに合った図書館の運営を進めてほしいと考えております。



また、休館中に新聞等が見られるようにするという説明もありました。休館中、少しでも区民サービスに努めていくという方向性は、いいのではないかと話を聞いて感じました。

○北内委員

私も同じですけれども、区民の利便性を図ったサービス向上のための休館だと思いますので、どちらも区民に寄り添った運営でお願いします。

○高橋委員

今、大田区立図書館では特別整理期間で、4月から11月まで各館ごとに順次、休館となっている状態です。

それで、5年に一度ということで、システムの入替えに伴う臨時休館が今回、12月からということで、これによって、また区民の利便性も増してくるようだと思いますので、仕方ないかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○教育長

ほかにございますか。

それでは、これをもちまして、令和4年第4回の教育委員会定例会を閉会とさせていただきます。

(午後3時24分閉会)

令和4年 第4回 教育委員会 定例会 4月25日(月) 午後3:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（施設調整担当）

学務課長

指導課長 令和4年度大田区立学校の研究校等について

指導企画担当課長

学校支援担当課長

副参事（法務担当）

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長 令和4年度大田区立図書館のシステム機器入替えに伴う臨時休館について

令和4年4月25日

令和4年第4回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項

日程第2 部課長の報告事項

令和4年度大田区立学校の研究校等について

令和4年4月25日

1 大田区教育委員会の研究校

(1) 教育研究推進校<2年次8校>

| 学校名      | 研究主題                                                                 | 担当指導主事<br>発表会実施日 |
|----------|----------------------------------------------------------------------|------------------|
| 大森第四小学校  | 自分の考えをもち深め合う、生活科・社会科学学習を目指して<br>～教師が変われば、子どもも変わる～                    | 金子<br>R5.1.31    |
| 入新井第五小学校 | 豊かなかかわりの中でよりよい人間関係を築き、集団や社会に貢献できる児童の育成                               | 浅羽<br>R4.12.9    |
| 池上小学校    | 思いや考えを伝え合い、協働して学習する児童の育成<br>～教科担任制を生かした授業改善～                         | 折田<br>R4.11.14   |
| 小池小学校    | 未来社会を創造的に生きる子どもの育成<br>～「未来ものづくり科」に向けた授業づくりを通して～                      | 秋山<br>R4.10.31   |
| 萩中小学校    | 理科の見方・考え方を働かせて、問題解決する児童の育成<br>～「予想する場面」を充実させる指導の工夫～                  | 宮澤<br>R4.10.14   |
| 西六郷小学校   | 運動についての課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫して取り<br>組む体育学習 ～運動が「楽しい」と思う児童の育成を目指して～ | 遠藤<br>R4.11.1    |
| 大森第二中学校  | 学校・家庭・地域の連携と実践共同体について<br>～コミュニティ・スクールの実践から～                          | 荻野<br>R5.1.20    |
| 南六郷中学校   | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた効果的な生徒用タブレットの活用<br>～生徒用タブレット活用『授業デザイン』開発～         | 江袋<br>R5.1.27    |

(2) 教育研究推進校<1年次8校>

| 学校名     | 研究主題                                                       | 担当指導主事 |
|---------|------------------------------------------------------------|--------|
| 大森第三小学校 | 未来をつくる健康・安全教育<br>～生涯にわたって健康を保持、増進する資質・能力の育成～               | 浅羽     |
| 田園調布小学校 | 一人一人の子どもが自ら深い学びを実現していく体育・健康教育（仮題）                          | 江袋     |
| 洗足池小学校  | 未来社会を創造的に生きる子どもの育成<br>～「未来創造プログラム」作成のためのカリキュラム・マネジメントを通して～ | 荻野     |
| 矢口小学校   | 地域とともに生きる児童の育成<br>～「何のために学ぶのか」を問い、創造の翼を広げる矢口の子～            | 秋山     |
| 相生小学校   | いじめや争いを乗り越えることのできる児童の育成<br>～体育科の授業を中心とした関わり合いの活動を通して～      | 金子     |
| 南蒲小学校   | 自尊感情を高める指導の工夫<br>～教科横断的教育を見据えて～                            | 遠藤     |
| 大森第六中学校 | よりよい未来を創造し、明るい社会の実現に貢献するための資質・能力の向上                        | 宮澤     |
| 蓮沼中学校   | いじめの未然防止・不登校（傾向）生徒へのさらなる対策のために<br>～「探究的な学び」を通して～           | 折田     |

- (3) 人権教育研究協力校 入新井第二小 糀谷小 糀谷中 (担当指導主事 浅羽)
- (4) 家庭学習研究推進校(2年次) 馬込小 高畑小 (担当指導主事 荻野)
- (5) おおたサイエンススクール 清水窪小 (担当指導主事 江袋)
- (6) 理科教育推進拠点校 清水窪小 入新井第一小  
萩中小 南六郷小 (担当指導主事 江袋)
- (7) 不登校対策実施校 中学校 全28校 (担当指導主事 金子)
- (8) 生きる力をはぐくむプログラム～大田区における特色ある教育の推進～事業実施校  
大森第五小 矢口小  
大森第三中 大森第六中 (担当指導主事 宮澤)
- (9) 「(仮称)未来ものづくり科」の新設に向けた研究実践校  
入新井第一小 調布大塚小  
小池小 出雲小  
志茂田小 道塚小 (担当指導主事 秋山、遠藤)
- (10) ICT教育推進授業モデル実証校(先進校)  
梅田小 東調布第一小  
南六郷中 安方中 (担当指導主事 宮澤)  
※小学校2校、中学校2校を予定
- (11) キャリア教育モデル校 南蒲小 (担当指導主事 遠藤)

## 2 東京都教育委員会の研究校

| 研究           | 学校名           | 担当指導主事<br>発表会実施日         |
|--------------|---------------|--------------------------|
| 学校と家庭の連携推進校  | 申請中(糀谷小 志茂田中) | 折田                       |
| 人権尊重教育推進校    | 蒲田小 羽田小       | 浅羽<br>R5. 1. 24<br>(蒲田小) |
| 情報教育研究校      | 梅田小           | 宮澤                       |
| 小学校教科担任制等推進校 | 池上小           | 折田                       |
| 小学校体育研究会     | 田園調布小         | 江袋<br>R4. 11. 15         |

## 3 文部科学省等の研究校

教育課程実践検証協力校 入新井第五小 道塚小  
全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 道塚小【発表日 R4. 11. 11】

令和4年度大田区立図書館の  
システム機器入替えに伴う臨時休館について

図書館システム機器は、令和4年11月にリース期間が終了するため、サーバ及び端末機器の更新を行い、新たにリース契約をいたします。

そのため、機器の入替えが必要になり、機器入替えに伴い、以下のとおり臨時休館いたします。

ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1 臨時休館の期間

令和4年12月1日～14日

2 臨時休館の図書館（全館）

大田区立図書館16館、大田文化の森情報館、田園調布せせらぎ館図書サービスコーナー、声の図書室（障がい者総合サポートセンター内）

3 その他

期間中は、図書館ホームページや池上図書館予約本自動受取機も利用できません。

ブックポストへのご返却や電子書籍貸出サービスの利用は可能です。